

大牟田市立高取小学校

1 本校のESDの特徴

本校区には豊かな自然が多く残っており、また、学習を支援して頂ける人材や施設も豊富である。このような中、本校では、環境教育と福祉教育を中心に据えながらESDに取り組んでいる。ESDを推進するにあたっては、主として生活科や総合的な学習の時間において、他者や社会、自然環境との関係性を認識し、「かかわり」「つながり」を尊重できる児童の育成をめざし取組を行ってきている。

環境教育では、自然を愛したり、自然を大切にしている地域の人と関わったりすることで、自然を大切にしたいという心を持ち、自ら環境へ働きかけ、環境を守り、受け継ごうとする協働的実践力を培うことをねらいとしている。

福祉教育では、人間尊重の精神を基盤にして、道徳的心情を育成し、福祉に対する理解を深め、お互いに助け合い、協力し合い、住みよい社会をつくるための実践的態度の育成をねらいとしている。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

- | | |
|--------------------------|-------------|
| (1) 1年生「みんななかよし」 | (生活科) |
| (2) 2年生「レッツ・ゴー 町たんけん2年生」 | (生活科) |
| (3) 3年生「わくわくドキドキお話たんてい団」 | (総合的な学習の時間) |
| (4) 4年生「心のキャッチボール」 | (総合的な学習の時間) |
| (5) 5年生「高取ホテルプロジェクト」 | (総合的な学習の時間) |
| (6) 6年生「ピースオンワールド」 | (総合的な学習の時間) |

3 特徴的な活動事例

< 5年生 総合的な学習の時間 単元「高取ホテルプロジェクト」 >

(1) 目標

- 校区の自然を調べることを通し自然環境の豊かな生き物の指標である「ホテル」を増やすことを目的として、環境保全に取り組む地域の人々や市役所や公民館の方と関わり合いながら、自分たちができる環境保全活動を考え実践していくことができる。

(2) 実践の展開

【活動の概要】

本校は大牟田市が加盟しているユネスコスクールの1つで、特に第5学年ではSDGsの中の「11：住み続けられるまちづくりを」「15：陸の豊かさを守ろう」の 카테고리を軸に、総合的な学習の時間「ホテルプロジェクト」を設定し、高取校区がもっとホテルの飛び交うまちになるように、豊かな自然を大切にしていこうという目標を設定した。地域の人々にも協力していただけるように、情報を発信している。今年度は地域や市役所環境課の方を招いて2回の『ホテルプロジェクト会議』を開き、地域への報告やお願い、また活動のアドバイスをいただいた。

本年1月には大牟田市開催の「ユネスコスクール子どもサミット」において、これまでの活動の発表を行った。

【課題の発見】

- ①長溝川にホテルがどのくらい飛んでいるのか調べる計画を立てる。(4月下旬)
- ・ホテル鑑賞会(5月25日夕刻)



②ホタル鑑賞会を通して

- ・なかなかホタルが見られなかった状況を把握し、地域の環境を向上させ、再びホタルが飛び交う川を取り戻す目的を持つ。

③どうすればホタルが戻ってくるのか調べる。

- ・自然愛好家（ホタル博士）に子どもの質問に答えていただく（ゲストティーチャー来校）

【計画】

④自分たちでできることは何かを出し合う。

- ・川をきれいにする活動を行う。
- ・カワニナを増やす、あるいは飼育は可能か考える。
- ・学校でホタルの川が作れるか調べる。

⑤第1回ホタルプロジェクト会議の開催（6月11日3,4校時：学校）

- ・地域代表の方、公民館、市役所環境課を招いて、自分たちの計画を検討していただく。
（川の清掃 カワニナの飼育 カワニナの移動 看板の設置 等）

【活動】

⑥実践「ホタルの川ふっかつ大作戦」

- ・川の掃除・地域の方への呼びかけ。
- ・学校のみんなへの呼びかけ。（ミニ新聞など）
- ・カワニナの飼育。
- ・ポスター、看板の設置。



⑦第2回ホタルプロジェクト会議の開催。（10月29日3,4校時：学校）

- ・取り組みの報告。
- ・地域の方への協力のお礼。

【まとめ】

⑧長溝川、高取ホタル川のこれまでの変化をまとめる。

- ・カワニナ飼育。
- ・長溝川の様子。（地域の方にとずねる）

⑨環境と自分たちの意識の変化を発表。

- ・1月11日ユネスコスクール子どもサミットで発表。
- ・新聞、スピーチ発表、お知らせチラシにして伝えよう。（4年へ、地域へ）



4 本年度の成果と課題

○成果（子どもの意識の変化）

- ・活動を行う過程で、子どもたちは地域の方やいろいろな関係の方からの支援やアドバイスをもらった。そこで自分たちは地域の一員として生活しているという「地域への誇りと所属感」が育ったと考える。
- ・ホタルの幼虫やカワニナの飼育は失敗も多かった。自然を育てるのはなかなか難しいという「生物多様性」についても理解した。

○課題

- ・自然が相手なので、天候に左右されやすい。
- ・途中で活動対象の河川が護岸工事が行われるということが分かり、活動する時期に変更が生じたため行事が偏ってしまった。